

第10回からあげグランプリ ～「スーパー総菜部門」を新設、 「ライフ」「平和堂」最高金賞受賞～

日本唐揚協会は4月17日(水)、「第10回からあげグランプリ」授賞式を開催した。今回同賞では、スーパー総菜部門を新設し、東日本、西日本に本部を置くスーパーからそれぞれ最高金賞・金賞を発表・表彰した。スーパー総菜部門では、105社・105商品(東日本48、西日本57)のエントリーから、東日本部門では(株)ライフコーポレーション(東京都)「純和赤鶏むね唐揚げ」が、西日本部門では(株)平和堂(滋賀県)「じゅわ旨!生姜香る鶏もも唐揚」が最高金賞を受賞した。



株式会社ライフコーポレーション
首都圏惣菜部惣菜課
チーフバイヤー 中島敬一氏

【東日本スーパー総菜部門】最高金賞受賞

最高金賞を受賞した(株)ライフコーポレーション首都圏惣菜部惣菜課チーフバイヤーの中島敬一氏は、「この唐揚げは、ライフが目指す“おいしい”“ワクワク”“ハッピー”を具現化した商品です。“スーパーでも専門店に負けない美味しい唐揚げを作りたい”というコンセプトのもとにチャレンジしました。そのチャレンジが評価されたことは大変嬉しいです」とした。

「純和赤鶏むね唐揚げ」※首都圏店舗のみで販売

鶏肉は、畜産部門で販売し、希少価値が高く品質評価も高い純国産の岩手県産純和赤鶏を使用。下味に塩麴を使うことで肉本来の旨味をさらに引き立て、やわらかく仕上げている。また、薄衣仕立て且つ2度揚げ製法により、肉の食感とジューシー感を楽しめる唐揚。

今回、スーパー総菜部門を新設した理由・目的や今後の同部門の展開について、同協会専務理事八木宏一郎氏は次のようにコメントした。

■新設理由・目的

スーパーマーケットの総菜コーナーの唐揚げはここ15年で非常に進化してきました。また、第二次からあげブームの流れでスーパーの総菜売場も進化しています。しかし、客観的に食べ比べて評価を実施する機会が無く、そこで第10回からあげグランプリ®に各スーパーマーケットの総菜売り場が盛り上がり、益々美味しくなることを願って新設しました。

■スーパー総菜部門について

開催前にリサーチした際は、NB商品が意外と多く、エントリー数が伸びるか不安でした。スーパー各社のこだわりを言語化することと、コンセプトや商品特徴を体系化していく中で、「薄衣」と「サイズUP」がトレンドであることが分かりました。これは、専門店発のからあげブームの流れがスーパーの総菜コーナーにも浸透しているのと、消費者のヘルシー志向と本格志向に答えているからだと考えられます。

今回は東日本と西日本の2部門に分けましたが、来年以降、開催できるなら部位や味付け、粉うちのタイミング等で分けることも検討したいです。